

令和4年度 1学年 普通科・水産科 「現代の国語」シラバス

教科名	科目名	単位数	学科・学年・授業クラス																		
国語	現代の国語	2	普通科・水産科（1年全クラス）																		
教科書・副教材	新編「現代の国語」（大修館書店）																				
科目概要と目標	<p>主体的・対話的で深い学びをとおして、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的に考える力・他者に共感する力・想像する力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高める。</p> <p>「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域をバランス良く学ぶことで、論理的思考力を養い、生徒の学習意欲や知的好奇心を喚起し、実社会で活用できる多様な実用的な文章力を養う。</p> <p>1. 文章を読んで筆者の主張を読み取り、「現代の国語」の学習に前向きに取り組む。</p> <p>2. 文章の種類によって変わる内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握する。</p> <p>3. 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記のしかたなどを理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。</p>																				
評価の観点	a 知識・読む力・聞く力	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記のしかたなどを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。																			
	b 思考・判断・表現力	現代の国語における文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。																			
	c 主体的に学習に向かう態度	文章を読んで筆者の主張を読み取ることに意欲的に取り組み、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。																			
評価の方法	<p>評点について</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>a 知識・読む力・聞く力</td> <td>(40点)</td> <td rowspan="3" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">合計100点</td> </tr> <tr> <td>b 思考・判断・表現力</td> <td>(40点)</td> </tr> <tr> <td>c 主体的に学習に向かう態度</td> <td>(20点)</td> </tr> </table> <p>指導要録用観点別評価、および評定について</p> <p>1. 観点 a について 定期テスト50%、定期試験以外の評価50%で換算し、以下のように割り当てる。 40点～28点→A 27点～12点→B 11点～0点→C</p> <p>2. 観点 b について 定期テスト50%、定期試験以外の評価50%で換算し、以下のように割り当てる。 40点～28点→A 27点～12点→B 11点～0点→C</p> <p>3. 観点 c について 定期試験以外の評価を100%で換算し、以下のように割り当てる。 20点～14点→A 13点～6点→B 5点～0点→C</p> <p>4. 評定は、上記1～3の評価を以下のように換算する。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 50%;"> <thead> <tr> <th>項目ごとの評価</th> <th>評定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AAA AAB</td> <td>5 or 4</td> </tr> <tr> <td>ABB BBB</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>BBC</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>BCC CCC</td> <td>2 or 1</td> </tr> </tbody> </table>			a 知識・読む力・聞く力	(40点)	}	合計100点	b 思考・判断・表現力	(40点)	c 主体的に学習に向かう態度	(20点)	項目ごとの評価	評定	AAA AAB	5 or 4	ABB BBB	3	BBC	2	BCC CCC	2 or 1
a 知識・読む力・聞く力	(40点)	}	合計100点																		
b 思考・判断・表現力	(40点)																				
c 主体的に学習に向かう態度	(20点)																				
項目ごとの評価	評定																				
AAA AAB	5 or 4																				
ABB BBB	3																				
BBC	2																				
BCC CCC	2 or 1																				

月	単元名	教材名	学習のねらい・活動	評価の観点		
				a	b	c
4	ことばをひらく	ことばの学びにむけて ・「変わる」ことを楽しもう	・筆者の考えを読み取り、「現代の国語」の学習に対する意欲を持つ。		○	
		・ことばの準備体操	・発音や聞き方に注意し話したり聞いたりする。 ・読みやすくわかりやすい字で正確に書く。 ・声量や速さ、間、強弱を工夫して音読する。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
5	わかりやすく説明する	説明のしかたをとらえよう ・人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いかな	・説明のしかたに注意して文章を読む。 ・順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに注目して、文章の構成をつかむ。	○		○ ○
6		・絵や写真を説明しよう	・絵や写真などの情報を説明する文章を書く。 ・わかりやすい説明のしかたを身につける。	○ ○	○ ○	○ ○
7	聞く力を育む	聞き取りのレッスン	・大切なことを聞き漏らさずに、正確に聞く。 ・自分にとって必要な情報を意識して、メモを取りながら聞く。	○	○ ○	○ ○
		ミニインタビューをしよう	・必要な情報を相手から引き出せるよう、質問しながら聞く。 ・話の展開に注意し、話を広げたり深めたりしながら聞く。 ・聞き取った情報を活用するためのメモをとる。	○ ○	○ ○	○ ○
		聞き取ったことをまとめよう	・聞き取った情報を整理したり編集したりし、わかりやすく効果的な文章を書く。 ・読み手からの助言などをふまえ、文章を整えたり、改善したりする。	○		○ ○
8 ・ 9	論理を読み取る	論理の展開を読み取ろう ・水の東西	・主張と根拠、具体と抽象、対比に着目することで、論理展開をとらえる。 ・論理的な文章の要旨を的確に読み取る。		○ ○	○ ○
10		伝え合いのレッスン	対話のレッスン	・相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを知る。 ・コミュニケーションにおける言葉以外の要素の大切さを知り、対話に生かす。	○	
	テーマを決めて話し合おう		・さまざまな方法を用いて、アイデアを広げたり整理したりする。 ・話し合いの目的を意識し、目的に沿った話し合いの進め方を考える。 ・議論の広げ方や深め方、結論の出し方を工夫して話し合う。		○ ○ ○	○ ○ ○

11	説得力を高める	意見文の基礎を学ぼう	<ul style="list-style-type: none"> 意見文の基本的な書き方と、構成の仕方を知る。 意見と理由を備えた基本的な意見文を書く。 	○	○	○
		反対意見を想定した意見文を書こう	<ul style="list-style-type: none"> 反対意見を想定しつつ、自分の意見を説得力のある意見文にまとめる。 	○		○
12	情報と向き合う	情報を吟味しながら読もう ・情報の力関係 ・世界は私にはぼんやりしている	<ul style="list-style-type: none"> 視点や根拠に注意し、情報を吟味しながら読む。 図表などから必要な情報を読み取る。 	○	○	
1	他者を動かす	魅力的な企画書を書こう	<ul style="list-style-type: none"> 対象者を明確にし、対象者を説得することができる企画書を書く。 企画書に必要な要素を知り、見やすく、わかりやすい企画書をまとめる。 	○	○	○
		プレゼンテーションをしよう	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手の心を動かし、目的を達成するために、構成や発表のしかたを工夫する。 さまざまな資料を活用しながら発表する。 	○	○	○
	2	相手を動かす依頼状を書こう	<ul style="list-style-type: none"> 相手や目的に応じ、適切な通信手段を選択する。 相手の気持ちを動かすような依頼状を書く。 	○	○	○
3	社会に目を向けて	自分の考えを深めながら読もう ・何のために「働く」のか	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張を的確に読み取り、それに対する自分の意見を持つ。 読み取ったことをもとに、自分の考えを広げたり深めたりする。 		○	○
					○	○

1. 定期試験の点数を7割とする。
2. 提出物、授業態度を3割とし、総合的に評価する。

以上の評価を以下の通り換算し評価評定とする。

AAA→A(5) AAB→A(5)
ABB→B(4) BBB→B(4) BBC→B(3)
BCC→C(2 or 1)
CCC→C(1)

【評価の3観点】

- a 知識・読む力・聞く力
- b 思考・判断・表現力
- c 主体的に学習に向かう態度

青字＝教科内のみの共有事項

3観点を a : b : c = 4 : 4 : 2 とする

a 知識・読む力・聞く力	(40点)	} 合計100点 → 評点
b 思考・判断・表現力	(40点)	
c 主体的に学習に向かう態度	(20点)	

1. 観点 a を、定期テスト50%、定期試験以外の評価50%に換算する。
(音読等の読む力、作文等の書く力 など)
100点～70点→A 69点～30点→B 29点～0点→C
2. 観点 b を、定期テスト50%、定期試験以外の評価50%に換算する。
(提出物の内容 など)
100点～70点→A 69点～30点→B 29点～0点→C
3. 観点 c を、定期試験以外の評価100%に換算する。
(出席状況、授業態度 など)
100点～70点→A 69点～30点→B 29点～0点→C
4. 評定は、上記1～3の評価を以下のように換算する。

項目ごとの評価	評定
AAA AAB	5 or 4
ABB BBB	3
BBC	2
BCC CCC	2 or 1

項目ごとの評価	評定
AAA	5
AAB ABB ABC BBB	4 or 3
BBC	2
BCC CCC	2 or 1

項目ごとの評価	パターン	観測順	評 定
A AAAA AA ABA B		5	5
A BABB BB BBB B		4	4
B BECB C B C B	C3B or C2B C		3
B CCCC BC C C		2 or 1	2
C C C			1

項目ごとの評価	評 定
AAA AAB	5 or 4
ABB BBB	3
BBC	2
BCC CCC	2 or 1

項目ごとの評価	評 定
AAA	5
AAB ABB BBB	4 or 3
BBC	2
BCC CCC	2 or 1

項目ごとの評価	評 定
AAA	5
AAB ABB ABC BBB	4 or 3
BBC	2
BCC CCC	2 or 1

【評価の3観点】

- a 知識・読む力・聞く力
- b 思考・判断・表現力
- c 主体的に学習に向かう態度

青字=教科内のみの共有事項

3観点を a : b : c = 2 : 2 : 1 とする

評点について

- a 知識・読む力・聞く力 (40点)
 - b 思考・判断・表現力 (40点)
 - c 主体的に学習に向かう態度 (20点)
- 合計100点

指導要録用評価について

1. 観点aを、定期テスト50%、定期試験以外の評価50%に換算する。(計40点)
(音読等の読む力、作文等の書く力 など)
100点～70点→A 69点～30点→B 29点～0点→C
40点～28点→A 27点～12点→B 11点～0点→C
2. 観点bを、定期テスト50%、定期試験以外の評価50%に換算する。(計40点)
(提出物の内容 など)
100点～70点→A 69点～30点→B 29点～0点→C
40点～28点→A 27点～12点→B 11点～0点→C
3. 観点cを、定期試験以外の評価100%に換算する。(計20点)
(出席状況、授業態度 など)
100点～70点→A 69点～30点→B 29点～0点→C
20点～14点→A 13点～6点→B 5点～0点→C
4. 評定は、上記1～3の評価を以下のように換算する。

項目ごとの評価	評定
AAA AAB	5 or 4
ABB BBB	3
BBC	2
BCC CCC	2 or 1

項目ごとの評価	評 定
AAA	5
AAB ABB ABC BBB	4 or 3
BBC	2
BCC CCC	2 or 1

項 観 点 別 評 価	パター ン 評 (観 点 順)	評 定
A AAAA AA AABA B	5	5
A BABB BB BBB B	4	4
B BECB C BCB C3B or C2B C	3	3
B CCCC BC CC	2 or 1	2
CCC		1

項目ごとの評価	評 定
AAA AAB	5 or 4
ABB BBB	3
BBC	2
BCC CCC	2 or 1

項目ごとの評価	評 定
AAA	5
AAB ABB BBB	4 or 3
BBC	2
BCC CCC	2 or 1

項目ごとの評価	評 定
AAA	5
AAB ABB ABC BBB	4 or 3
BBC	2
BCC CCC	2 or 1

令和4年度 1学年 普通科・水産科 「言語文化」シラバス

教科名	科目名	単位数	学科・学年・授業クラス										
国語	言語文化	2	普通科・水産科（1年全クラス）										
教科書・副教材	新編「言語文化」（大修館書店）												
科目概要と目標	<p>時代を超えて親しまれてきた言葉や文化に目を向け、古来より日本人は何に思いを寄せてきたのか、どのようなものに美を見出してきたのか等、古今の文章や詩歌に触れ、連綿と受け継がれ、言葉によって表現された日々の思いや感動と日本の言語文化の豊かさを味わう。</p> <p>1. 時代の異なる文学作品に触れることで、日常使っている言葉を見つめ直す。 2. 日本で受け継がれてきた自然観や美意識について、筆者の主張をとらえる。 3. 言語感覚を磨き、自己表現する力をつける。</p>												
評価の観点	a 知識・読む力	言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。											
	b 思考・判断・表現力	言語文化における文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。											
	c 主体的に学習に向かう態度	日本の伝統的な自然観や美意識について筆者の主張をとらえることに興味をもち、季語をはじめとする日本独特の自然の味わい方や情緒の捉え方、人間関係の在り方等に対して関心をもって取り組もうとしている。											
評価の方法	<p>評点について</p> <p>a 知識・読む力・聞く力 (40点) b 思考・判断・表現力 (40点) 合計100点 c 主体的に学習に向かう態度 (20点)</p> <p>指導要録用観点別評価、および評定について</p> <p>1. 観点 a について 定期テスト50%、定期試験以外の評価50%で換算し、以下のように割り当てる。 40点～28点→A 27点～12点→B 11点～0点→C</p> <p>2. 観点 b について 定期テスト50%、定期試験以外の評価50%で換算し、以下のように割り当てる。 40点～28点→A 27点～12点→B 11点～0点→C</p> <p>3. 観点 c について 定期試験以外の評価を100%で換算し、以下のように割り当てる。 20点～14点→A 13点～6点→B 5点～0点→C</p> <p>4. 評定は以下のように換算する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>観点別評価</th> <th>評定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AAA AAB</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ABB BBB</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>BBC</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>BCC CCC</td> <td>2 or 1</td> </tr> </tbody> </table>			観点別評価	評定	AAA AAB	5	ABB BBB	4	BBC	3	BCC CCC	2 or 1
観点別評価	評定												
AAA AAB	5												
ABB BBB	4												
BBC	3												
BCC CCC	2 or 1												

月	単元名	教材名	学習のねらい・活動	評価の観点		
				a	b	c
4	ことばと出会う	言葉の森を育てよう	<ul style="list-style-type: none"> 言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。 日常使っている言葉を見つめ直す。 	○		
		季節の言葉と出会う	<ul style="list-style-type: none"> 日本で受け継がれてきた自然観や美意識について、筆者の主張をとらえる。 起語に興味をもつとともに、日本独自の自然の味わい方について、自分の考えを深める。 	○		
		漢字と仮名の使い分け	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の表記の特色について、筆者の主張をとらえる。 表記に興味をもち、調べたり考えたりする。 	○		○
5	表現を味わう	水かまきり	<ul style="list-style-type: none"> 文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取る。 オノマトペの表現効果をとらえる。 	○		
6		とんかつ	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 語り手の役割や場面の展開に着目し、作品の構造を理解する。 	○	○	
7	文化を見つめる	足し算の文化	<ul style="list-style-type: none"> 日本文化の特徴について、筆者の主張をとらえる。 身の回りの例を探しながら、日本文化の特色について理解を深める。 	○	○	○
8 9	物語を受け継ぐ	羅生門	<ul style="list-style-type: none"> 小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。 	○	○	○
10	古文に親しむ	古文への招待 いろは歌	<ul style="list-style-type: none"> 古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 受け継がれてきた古文を音読し、響きやリズムを味わう。 	○	○	○
		児のそら寝	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し音読し、古文の読みに慣れる。 児と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取る。 	○	○	○
11		枕草子 春はあけぼの うつくしもの にきもの	<ul style="list-style-type: none"> 音読することで古文の読みに慣れ、文章の特色を理解する。 作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。 	○		○

12	物語の広がり	伊勢物語 あづま下り	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や場面の展開を正確に把握する。 ・和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考える。 	○		
1	旅への思い	土佐日記 門出	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の展開や和歌の内容に注意して、登場人物の心情を読み取る。 ・作品の主題と表現の特色を理解する。 	○	○	○
2		おくのほそ道 旅立ち	<ul style="list-style-type: none"> ・音読して文体の特徴をとらえ、文章の内容を読み取る。 ・文と句の関係に注意して、それぞれの句に詠まれた情景や心情を考える。 	○		○
3	漢文に親しむ	訓読のきまり	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の訓読の決まりについて理解する。 ・漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。 	○	○	○
		守株	<ul style="list-style-type: none"> ・音読して文体の特徴をとらえる。 ・「株を守る」という言葉の意味について、考えを深める。 ・この話で語られている教訓の意義を理解する。 	○	○	○

1. 定期試験の点数を7割とする。
2. 提出物、授業態度を3割とし、総合的に評価する。

令和4年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
国語科	国語表現	3	3年・普通科

科目概要と目標	1 国語を的確に理解しうる能力を育成し、伝えあう力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにする。 2 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。		
教科書・副教材	国語表現(京都書房)・国語必携ライトパーフェクト演習三訂版(尚文出版)		
評価の観点	関心・意欲・態度	国語や言語文学の関心を深め、進んで表現・理解・伝え合いをしようとする。	
	思考・判断・表現	自分の考えをまとめ、目的や場面に応じて話したり的確に聞き取ったりする。	
	技能	相手や目的に応じて、筋道を立てて適切に文章を書く。	
	知識・理解	音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身につける。	
評価の方法	1 中間テスト・期末テスト・実力テストで70%。課題の提出や授業態度で30%。 2 学年は各学期の評点を平均して算出。 3 各学期及び学年の評点が30点に満たないものは欠点とする。 4 1～3以外で表現方法についての技術点も含め、加減点する。		

学習計画および評価方法 等 (科の特性に応じて書式や項目を改変してください)

評価の観点：a (関心・意欲・態度) b (思考・判断・表現) c (技能) d (知識・理解)

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4 ～ 3	〔語彙力を高める〕 (授業の前半部)	・副教材を用いて、時間を決めての演習と解説。 ・語彙力を高めることであらゆる表現技法の基礎とする。			○	○

	(授業の後半部)					
4 9	〔伝えるというこ と〕	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の発問をきちんと聞き、発言者の意図を理解する。 ・ノートに答えを書き、推敲していくことで他者を意識した表現方法を身につける ・発表することで、自分の考えを他者に明確に伝えることができる。 ・他者の発表を自分の考えと照らし合わせることで、差異から他者の意見を尊重する力を付ける。 		○	○	○
1 0 ~ 1	〔決まった表現パ ターンを学ぶ〕	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙を書くことで一定の形を知り、活用できるようにする。 ・固定電話の受け答えから一定の形を知り、活用できるようにする。 ・敬語表現を学ぶことで、相手を敬うことを学び、活用できるようにする。 	○	○	○	○
2 ・ 3	〔 自己の探求〕	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の新たな進路を見据え、これまで自分が辿った足跡を見つめ直す。 ・プライバシーもあるため、伝えられる範囲でノートへ記述として、また他者へ発表という形で口述として自己を表現することができる。 	○	○	○	○

令和4年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
国語	現代文 A	2	2 学年 普通科

科目概要と目標	1. 近代以降の様々な文章を読むことにより日本の言語文化に対する理解を深める。 2. 生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。		
教科書・副教材	第一学習社 改訂版新編現代文 A ・学習課題集		
評価の観点	関心・意欲・態度	文章を読む楽しさを味わい、読書に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	
	思考・判断・表現	目的に応じてまとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め発展させている。	
	技能	文章を読むことで自分の思いを想起し、表現できる。	
	知識・理解	言語文化及び、言葉の特徴などの理解を深め、知識を身につけている。	
評価の方法	各学期共通で、定期試験・提出物及び授業態度により評価する。		

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（関心・意欲・態度） b（思考・判断・表現） c（技能） d（知識・理解）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4	なぜ「コロナブスの卵」を描くのか	・随想の読み方を習得する。 ・固定観念の持つ性質について理解する。 ・固定観念から自由になるための方法について考える。	○			○
5	調律師のるみ子さん	・現代小説のおもしろさを味わい、読解のしかたを学ぶ。 ・主人公のおかれた状況について整理し、行動とのつながりを読み取る。 ・登場人物の心理変化を読み取る。	○			
6	新しい地球間	・随想的要素を持つ評論の読み方を学ぶ。 ・筆者がオーサグラフ地図から受け取ったメッセージとはどのような者かを考える。 ・様々な地図が形作る「世界の見方」について考える。	○			○

7	デューク	<ul style="list-style-type: none"> ・現代小説の面白さを味わい、読解の仕方を学ぶ。 ・それぞれの場面における登場人物の言葉、行動から心情を読み取る。 ・最後の場面やその後の登場人物の心情について考える。 	○			○
8・9	数え方で磨く日本語	<ul style="list-style-type: none"> ・随想的な要素をもつ評論の読み方を学ぶ。 ・日本語のものの数え方の特徴について理解し、自らの言語生活に引きつけて考える姿勢を養う。 	○	○	○	○
10	汚れつちまつた悲しみに…	<ul style="list-style-type: none"> ・近代詩の鑑賞のしかたを学ぶ。 ・七五調のリズムの詩を読むことで、詩の音楽性や音数律の効果について理解する。 ・俗語的な言葉の持つ効果について考える。 ・作者の人生観を考えることで、自らの理想や社会のあり方について考える機会を持つ。 	○	○	○	○
	永訣の朝	<ul style="list-style-type: none"> ・近代詩の鑑賞のしかたを学ぶ。 ・表現上の特色について理解する。 ・妹の死を契機として、作者の心がどのように高められていったのかを読み取る。 ・作者の思いに迫り、自己の生き方に引きつけて考える。 	○			○
11・12	相棒	<ul style="list-style-type: none"> ・現代小説のおもしろさを味わい、読解の仕方を学ぶ。 ・時間の経過に伴う登場人物の性格、心理、行動の変化を読み取る。 ・題名にこめられた意味について考える。 	○	○	○	
1	コミュニケーションの文化	<ul style="list-style-type: none"> ・随想的な要素を持つ評論の読み方を学ぶ。 ・国や民族によってコミュニケーションの文化に違いが生じることについて、理解を深める。 ・国際化が進む現代社会において、日本人のコミュニケーションのどういう点が問題なのかを自らの問題として考える。 	○	○	○	○
2・3	鼻	<ul style="list-style-type: none"> ・近代の代表的な短編小説を読解する。 ・内供の人物像や心情の変化を読み取る。 ・小説世界を自己のものの見方や考え方に引きつけて考える。 	○	○	○	○

令和4年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
国語科	現代文 A	2	3年・普通科

科目概要と目標	1 近代以降の様々な文章を読むことによって読む能力を養い、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 2 読む能力により養った、ものの見方、感じ方、考え方を表現することによってコミュニケーション能力を向上させる。 3 読書を通して豊かな人間性を育む態度を養う。		
教科書・副教材	標準現代文B・標準現代文学習課題集（第一学習社）		
評価の観点	関心・意欲・態度	文学への関心を深め、言語能力の向上を図り、自ら表現・理解・伝え合いをしようとする。	
	思考・判断・表現	自分の考えをまとめ、目的や場面に応じて話したり的確に聞き取ったりする。	
	技能	相手や目的に応じて、筋道を立てて適切に文章を書く。	
	知識・理解	音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身につける。	
評価の方法	1 中間テスト・期末テスト・実力テストで70%。課題の提出や授業態度で30%。 2 学年は各学期の評点を平均して算出。 3 各学期及び学年の評点が30点に満たないものは欠点とする。		

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（関心・意欲・態度） b（思考・判断・表現） c（技能） d（知識・理解）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4 5	〔世界を見つめる〕 『ワスレナグサ』 星野道夫	・内容を理解し、問題点を把握する。 ・文章の主題を理解する。 ・「現代」という時代とその問題点について、「考えようとする力」を養う。	○		○	○
6	〔小説を読む（一）〕 『ひよこの眼』	・回想形式で始まることを意識し、筋の流れと小説全体の構成を考える。 ・表現の特徴と具体的な描写に留意し、	○	○		

<p>7 8 9 10</p>	<p>山田詠美 〔社会と文化〕 『クマを変えてしま う人間』 『大量生産の眩 暈』</p>	<p>それが登場人物の心理とどのような関わりを見せるのかについて考察する。 ・筆者の視点（考え方）について正しく把握する。・作品の主題について考察する。・現代社会や自分を取り巻く環境についてもう一度考え直し、生活を見つめ直すきっかけとする。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○</p>	<p>○ ○</p>
<p>11 12 1 2 3</p>	<p>〔小説を読む (二)〕 『卒業』 魚住直子</p>	<p>・文章全体の論理構造を把握する。 ・文章で用いられている重要語句や接続詞などに着目しながら読解する。 ・「思い込み」を自らの問題として考え、視野を広げることの重要性を理解する。 ・主人公の中で、「仕事」と「友人への思い」がどのように変化していくのかを正確に把握する。 ・読解を通じて、「働くこと」や「大人になること」についてを考え、将来の展望について考察する。 ・生活の変化に伴う人間関係の変化や、気持ちの移り変わりについて考え、自らの思索の手助けとする。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○</p>	<p>○ ○</p>

令和4年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
国語	古典A	2	2学年 普通科選択a

科目概要と目標	1. 古文を読むことによって、日本の伝統と文化に対する理解を深める。 2. 漢文を読むことによって、日本人が漢文とどう関わってきたかに思いを致し、伝統と文化に対する理解を深める。 3. 生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。		
教科書・副教材	第一学習社 改訂版標準古典A 物語選・学習課題集		
評価の観点	関心・意欲・態度	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、わが国の伝統と文化に対する関心を深めようと努力している。	
	思考・判断・表現	まとまりの古典を読んで、そこに表れた思想や感情をよみとり、人間、社会、自然などについて考察できる。	
	技能	古典特有の表現を味わいながら音読できる。	
	知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、古典をよむために必要な知識を身につけている。	
評価の方法	各学期共通で、定期試験・提出物及び授業態度により評価する。		

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（関心・意欲・態度） b（思考・判断・表現） c（技能） d（知識・理解）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4	古本説話集 十訓抄	・短い説話を読んで、古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・機知に富んだ返歌を読み味わうことで、日本語の言語文化に理解を深める。 ・本文を正しく音読できる。	○	○	○	○
5	古今著聞集	・短い説話を読んで、古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・有名な和歌を含む説話を読んで、和歌や和歌説話の特質を考える。 ・本文を正しく音読できる。	○	○	○	○

6・7	史記 項羽大いに怒る	<ul style="list-style-type: none"> ・長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・漢楚の興亡についての概要を知る。 ・作者司馬遷についての概要を知る。 ・本文を正しく音読できる。 	○				○
8・9	伊勢物語	<ul style="list-style-type: none"> ・短い和歌物語を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。 ・本文と和歌を正しく音読できる。 	○				○
10	方丈記	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読んで作者の思想や感情を読み取り、人間、社会などについて学ぶ。 ・優れた表現を読み味わう。 ・無常観について理解し、日本文化の特質を考える。 ・正しく音読できる。 	○				○
11・12	史記 剣の舞	<ul style="list-style-type: none"> ・長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・漢楚の興亡についての概要を知る。 ・本文を正しく音読できる。 	○				○
1・2	枕草子	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読んで作者の思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて学ぶ。 ・優れた表現を読み味わう。 ・本文を正しく読む。 	○				○
2・3	史記 樊噲頭髮上指す	<ul style="list-style-type: none"> ・長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・漢楚の興亡についての概要を知る。 ・本文を正しく音読できる。 	○				○

令和4年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
国語	古典A	2	3学年 普通科選択c

科目概要と目標	1. 古文を読むことによって、日本の伝統と文化に対する理解を深める。 2. 漢文を読むことによって、日本人が漢文とどう関わってきたかに思いを致し、伝統と文化に対する理解を深める。 3. 生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。		
教科書・副教材	第一学習社 改訂版標準古典A 物語選・学習課題集		
評価の観点	関心・意欲・態度	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、わが国の伝統と文化に対する関心を深めようと努力している。	
	思考・判断・表現	まとまりの古典を読んで、そこに表れた思想や感情をよみとり、人間、社会、自然などについて考察できる。	
	技能	古典特有の表現を味わいながら音読できる。	
	知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、古典をよむために必要な知識を身につけている。	
評価の方法	各学期共通で、定期試験・提出物及び授業態度により評価する。		

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（関心・意欲・態度） b（思考・判断・表現） c（技能） d（知識・理解）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4	古本説話集 十訓抄	・短い説話を読んで、古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・機知に富んだ返歌を読み味わうことで、日本語の言語文化に理解を深める。 ・本文を正しく音読できる。	○	○	○	○
5	古今著聞集	・短い説話を読んで、古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・有名な和歌を含む説話を読んで、和歌や和歌説話の特質を考える。 ・本文を正しく音読できる。	○	○	○	○

6・7	史記 項羽大いに怒る	<ul style="list-style-type: none"> ・長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・漢楚の興亡についての概要を知る。 ・作者司馬遷についての概要を知る。 ・本文を正しく音読できる。 	○				○
8・9	伊勢物語	<ul style="list-style-type: none"> ・短い和歌物語を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。 ・本文と和歌を正しく音読できる。 	○				○
10	方丈記	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読んで作者の思想や感情を読み取り、人間、社会などについて学ぶ。 ・優れた表現を読み味わう。 ・無常観について理解し、日本文化の特質を考える。 ・正しく音読できる。 	○				○
11・12	史記 剣の舞	<ul style="list-style-type: none"> ・長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・漢楚の興亡についての概要を知る。 ・本文を正しく音読できる。 	○				○
1・2	枕草子	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読んで作者の思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて学ぶ。 ・優れた表現を読み味わう。 ・本文を正しく読む。 	○				○
2・3	史記 樊噲頭髮上指す	<ul style="list-style-type: none"> ・長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・漢楚の興亡についての概要を知る。 ・本文を正しく音読できる。 	○				○

令和4年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
国語科	国語表現	3	3年・水産科

科目概要と目標	1 国語を的確に理解しうる能力を育成し、伝えあう力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにする。		
	2 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。		
教科書・副教材		国語表現(京都書房)・国語必携ライトパーフェクト演習三訂版(尚文出版)	
評価の観点	関心・意欲・態度	国語や言語文学の関心を深め、進んで表現・理解・伝え合いをしようとする。	
	思考・判断・表現	自分の考えをまとめ、目的や場面に応じて話したり的確に聞き取ったりする。	
	技能	相手や目的に応じて、筋道を立てて適切に文章を書く。	
	知識・理解	音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身につける。	
評価の方法	1 中間テスト・期末テスト・実力テストで70%。課題の提出や授業態度で30%。 2 学年は各学期の評点を平均して算出。 3 各学期及び学年の評点が30点に満たないものは欠点とする。 4 1～3以外で表現方法についての技術点も含め、加減点する。		

学習計画および評価方法 等 (科の特性に応じて書式や項目を改変してください)

評価の観点：a (関心・意欲・態度) b (思考・判断・表現) c (技能) d (知識・理解)

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4 ～ 3	〔語彙力を高める〕 (授業の前半部)	<ul style="list-style-type: none"> 副教材を用いて、時間を決めての演習と解説。 語彙力を高めることであらゆる表現技法の基礎とする。 			○	○

	(授業の後半部)					
4 9	〔伝えるというこ と〕	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の発問をきちんと聞き、発言者の意図を理解する。 ・ノートに答えを書き、推敲していくことで他者を意識した表現方法を身につける ・発表することで、自分の考えを他者に明確に伝えることができる。 ・他者の発表を自分の考えと照らし合わせることで、差異から他者の意見を尊重する力を付ける。 		○	○	○
1 0 ~ 1	〔決まった表現パ ターンを学ぶ〕	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙を書くことで一定の形を知り、活用できるようにする。 ・固定電話の受け答えから一定の形を知り、活用できるようにする。 ・敬語表現を学ぶことで、相手を敬うことを学び、活用できるようにする。 	○	○	○	○
2 ・ 3	〔 自己の探求〕	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の新たな進路を見据え、これまで自分が辿った足跡を見つめ直す。 ・プライバシーもあるため、伝えられる範囲でノートへ記述として、また他者へ発表という形で口述として自己を表現することができる。 	○	○	○	○

令和4年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
国語	現代文 A	3	2 学年 水産科

科目概要と目標	1. 近代以降の様々な文章を読むことにより日本の言語文化に対する理解を深める。 2. 生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。		
教科書・副教材	第一学習社 改訂版新編現代文 A ・学習課題集		
評価の観点	関心・意欲・態度	文章を読む楽しさを味わい、読書に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	
	思考・判断・表現	目的に応じてまとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め発展させている。	
	技能	文章を読むことで自分の思いを想起し、表現できる。	
	知識・理解	言語文化及び、言葉の特徴などの理解を深め、知識を身につけている。	
評価の方法	各学期共通で、定期試験・提出物及び授業態度により評価する。		

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（関心・意欲・態度） b（思考・判断・表現） c（技能） d（知識・理解）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4	なぜ「コロナブスの卵」を描くのか	<ul style="list-style-type: none"> 随想の読み方を習得する。 固定観念の持つ性質について理解する。 固定観念から自由になるための方法について考える。 	○			○
5	調律師のるみ子さん	<ul style="list-style-type: none"> 現代小説のおもしろさを味わい、読解のしかたを学ぶ。 主人公のおかれた状況について整理し、行動とのつながりを読み取る。 登場人物の心理変化を読み取る。 	○			
6	新しい地球間	<ul style="list-style-type: none"> 随想的要素を持つ評論の読み方を学ぶ。 筆者がオーサグラフ地図から受け取ったメッセージとはどのような者かを考える。 様々な地図が形作る「世界の見方」について考える。 	○			○

7	デューク	<ul style="list-style-type: none"> ・現代小説の面白さを味わい、読解の仕方を学ぶ。 ・それぞれの場面における登場人物の言葉、行動から心情を読み取る。 ・最後の場面やその後の登場人物の心情について考える。 	○			○
8・9	数え方で磨く日本語	<ul style="list-style-type: none"> ・随想的な要素をもつ評論の読み方を学ぶ。 ・日本語のものの数え方の特徴について理解し、自らの言語生活に引きつけて考える姿勢を養う。 	○	○	○	○
10	汚れつちまつた悲しみに…	<ul style="list-style-type: none"> ・近代詩の鑑賞のしかたを学ぶ。 ・七五兆のリズムの史を読むことで、詩の音楽性や音数律の効果について理解する。 ・俗語的な言葉の持つ効果について考える。 ・作者の人生観を考えることで、自らの理想や社会のあり方について考える機会を持つ。 	○	○	○	○
	永訣の朝	<ul style="list-style-type: none"> ・近代詩の鑑賞のしかたを学ぶ。 ・表現上の特色について理解する。 ・妹の死を契機として、作者の心がどのように高められていったのかを読み取る。 ・作者の思いに迫り、自己の生き方に引きつけて考える。 	○			○
11・12	相棒	<ul style="list-style-type: none"> ・現代小説のおもしろさを味わい、読解の仕方を学ぶ。 ・時間の経過に伴う登場人物の性格、心理、行動の変化を読み取る。 ・題名にこめられた意味について考える。 	○	○	○	
1	コミュニケーションの文化	<ul style="list-style-type: none"> ・随想的な要素を持つ評論の読み方を学ぶ。 ・国や民族によってコミュニケーションの文化に違いが生じることについて、理解を深める。 ・国際化が進む現代社会において、日本人のコミュニケーションのどういう点が問題なのかを自らの問題として考える。 	○	○	○	○
2・3	鼻	<ul style="list-style-type: none"> ・近代の代表的な短編小説を読解する。 ・内供の人物像や心情の変化を読み取る。 ・小説世界を自己のものの見方や考え方に引きつけて考える。 	○	○	○	○